

意見募集対象 15事業案

部局名	事業案名	事業案概要	取組内容	事業費 (千円)	県民投票数 (順位)
1 政策企画部	県民の郷土愛を育む三重県偉人再認識事業	三重県誕生150周年記念事業のレガシーとして、現在の三重県が先人たちの努力によって成り立っていることを広く県民に再認識いただき、郷土への愛着と地域の一体感を醸成することを目的とし、150周年記念HPの偉人紹介コンテンツを大幅に拡充し、三重県ゆかりの偉人を発信します。	150周年記念HPの偉人紹介ページを拡充します。掲載人数を現在の12名から拡充し、小津安二郎、佐々木信綱、東畑精一といった文学・スポーツ・芸術など幅広い分野の偉人を新たに紹介します。	4,900	250票(5位)
2 地域連携・交通部	みえのスポーツチャレンジパーク実施事業	県にゆかりのあるスポーツチーム・アスリート等との交流や競技の体験を通じて県民がスポーツに親しむ機会をつくります。	○大規模なスポーツ体験イベントの実施 ・県にゆかりのあるスポーツチーム・アスリート等が参加した、県民が様々なスポーツを体験できるイベントを実施します。 ・年齢や性別、障がいの有無等に関わらずスポーツに触れ親しむ機会を提供します。	7,500	137票(9位)
3 環境生活部	地域での交流を通じた相互理解促進事業	言語の種類、レベルを問わず、コミュニケーションをとることができるスポーツ等のイベントを通じて、日本人住民と外国人住民が交流します。 この交流をきっかけとし、日本語や生活ルール等、地域で生活していくうえで必要なことを学び、今後の更なる交流につなげます。	○スポーツ等のイベントを通じた交流 ・日本人住民と外国人住民(国籍や年齢を問わず)の混合チームを編成し、互いに助け合う競技を実施します。 ・競技に参加する日本人住民と外国人住民に対する「やさしい日本語」の周知を行います。 ○日本語、生活ルール等の講座 ・この交流を更なるものとするために、日本語の習得や生活ルール、防災等に関する講座を開催します。 ・地域への理解が促進できるよう、文化や行事に関する講座を開催します。	3,500	296票(2位)
4 環境生活部	「STOP!性暴力!よりこ出前講座」専門家派遣事業	子どもへの性暴力根絶をめざすため、専門家を派遣して「よりこ出前講座」を開催することで、子どもや子どもの周囲の大人が性暴力防止に必要な知識を身につけるとともに、本講座を通じて、性暴力根絶に必要な情報を収集し、さらなる効果的な取組につなげるために活用します。	○「よりこ出前講座」専門家派遣事業 ・日ごろから性暴力防止や被害者等支援に取り組まれている専門家を学校や団体(実施校等)に派遣し、子どもや周囲の大人が性暴力の被害者・加害者だけでなく、性暴力の傍観者にならないために、バイスタンダー(第三者)介入の概念を取り入れた「よりこ出前講座」を実施します。 ・出前講座実施前に、実施校等にヒアリングシートを作成してもらい、希望する講座内容や課題に即した内容の講座を行います。また、専門家によるアドバイス等を通じて課題の解消につなげます。 ・出前講座実施校・団体と専門家の対話や講座参加者に対する調査を実施することにより、学校等における課題や性暴力等に対する認識などを把握するとともに、性暴力根絶に向けた取組を推進します。	1,002	274票(4位) (※)
5 教育委員会	子ども性暴力未然防止プロジェクト事業	子どもが自らを権利の主体であると自覚し、性被害から自分や他者を守る力を身につけられるよう、県内外の学校等における性と人権に関する取組事例を収集し、子ども向けの学習資料の作成・配付及びモデル授業を行います。	○人権の観点を取り入れた性教育の取組事例を収集 ・県内外における学校等における人権の視点を持った性教育の取組事例を収集します。 ○子ども向けの学習資料の作成及びモデル授業の実施 ・「デートDV」や「望まない妊娠」等の性被害を未然に防止し、子どもが自分や他者の人権を守る力を育むことをねらいとした学習資料を作成します。 ・作成した学習資料を活用し、養護教諭等がモデル授業を実施します。 ・生徒及び保護者向け啓発資料の作成・配付します。	4,431	274票(4位) (※)
6 環境生活部	犯罪被害者等支援従事者資質向上事業	誰が、いつ犯罪被害者等支援に従事することになっても、犯罪被害者等に必要な支援がすぐに提供できるよう、支援に関する知識や技能をつめこんだハンドブックを活用し、支援従事者の資質向上を図ります。	○「三重県犯罪被害者等支援ハンドブック」の改訂・配布 ・令和2年に作成した支援従事者向けのハンドブックについて、刑法改正や支援の充実などにより支援の実際と記載内容に差異が生じていることから、誰もがすぐに活用できるよう内容を改める改訂を行います。 ・市町の担当者を中心とした支援従事者への配布とともに、ハンドブックの活用方法に関する研修を行うことで、犯罪被害者等と接する機会の少なさや異動等によるノウハウの蓄積に課題がある市町において、誰が担当者となっても市町の各部署と連携し、被害者等が二次被害を受けることなく、安全に安心して途切れない支援を受けることができる体制の充実を促進します。	1,305	124票 (10位)
7 農林水産部	多国籍料理への県産農林水産物の利用拡大推進事業	増加する外国人の需要を取り込み、県産農林水産物を知る、おいしさを体感できる機会を増やし、多国籍料理への継続的な活用を図るため、多国籍料理の飲食店等と連携し、県産農林水産物を活用したメニュー開発や県産農林水産物の魅力発信プロモーション等を実施します。	○多国籍料理への県産農林水産物の利用拡大推進事業 ・多国籍料理の飲食店等と連携し、県産農林水産物を活用したメニューの開発を実施します。 ・多国籍料理の飲食店での県産農林水産物の魅力発信プロモーション等を実施します。	5,000	141票(8位)
8 農林水産部	日常生活に溶け込む大人の食育推進事業	県内スーパーや直売所等と連携し、「地産地消×食育」をテーマとした県民の日常の食生活に溶け込む「大人の食育」を実施し、食や県産農林水産物への関心の向上につなげます。	○日常に溶け込む「大人の食育」推進事業 県内スーパーや直売所等と連携し、「地産地消×食育」をテーマとして、デジタルツール等の誰でも手軽に簡単に参加できる仕組みを活用した、県民の日常に溶け込む「大人の食育」を実施します。	5,000	286票(3位)

9	雇用経済部	「現代版伊勢商人」による三重県産品販路拡大事業	お伊勢参りの歴史が育んだ「餅街道」や「日本酒」をはじめとする三重県には魅力的な食資源が豊富にあります。江戸時代に活躍した「伊勢商人」は、こうした優れた三重の食や工芸品などの県産品を江戸・日本橋に持っていき、商売を行い発展しました。 こうした伊勢商人のマインドを受け継ぎ、三重の食文化などの背景とともに県産品を効果的に魅力発信していくため、三重県とゆかりの深い日本橋に位置する「三重テラス」を活用しながら、首都圏における県産品取扱店舗等の拡大に向けた営業展開およびインバウンド向けの県産品プロモーション等を行うことで、首都圏における三重県産品の継続的・安定的な販路拡大や知名度の向上につなげます。	○伊勢商人の精神で切り開く、江戸における県産品販路開拓 「餅街道」や「日本酒」など三重の魅力ある食・伝統工芸を豊富に取り扱う三重テラスを県産品のショールームとして活用しながら、三重テラスがかつての伊勢商人のような商社的な役割を担い、首都圏の卸、小売事業者等へ営業活動を行い、県産品の販路を開拓します。 ○江戸からグローバルへ羽ばたく県産品プロモーション かつて御師（おんし）が、全国を駆け巡りお伊勢参りを発信したことになぞらえ、インバウンド向けのツアーコーディネーター等の在京外国人向けに、三重県食材を知ってもらうイベント MIE GASTRONOMY NIGHTを開催することで、在京外国人達がインバウンドに対して三重の魅力を発信する令和版「ONSHI」となり、今後の旅行先の選択肢として”選ばれる三重”を目指し、江戸からグローバルに三重の魅力を発信します。 ○伊勢街道がはぐくんだ「三重の美食」の発信 かつて「伊勢商人」が伊勢の国の産物を江戸に発信したように、街道沿いに並ぶ酒蔵が醸す三重の美食を支える「日本酒」と、三重県の特徴ある優れた産品から選定される「みえの食セレクション」との組み合わせにより、令和の三重の美食を首都圏に向けて発信します。	10,000	322票（1位） （※）
10	観光部	「現代版お伊勢参り」食文化周遊促進事業	次期神宮式年遷宮を見据え、お伊勢参りの歴史が育んだ「餅街道」をはじめとする三重県固有の食文化にスポットを当て、情報発信を通じて、滞在型周遊観光を推進します。	○「餅街道」等の食文化コンテンツの掘り起こし 現地でしか味わえない商品などの掘り起こしを行うとともに、店主・職人との歴史・文化を感じる対話や手作り体験など、"買う" "食べる"だけでは得られない「特別感」を有した食に関する観光コンテンツを造成します。 ○デジタルスタンプラリーの実施 「餅街道」等の食文化スポットにおいて、DMOや観光協会、市町、事業者等と連携し、デジタルスタンプラリーを実施することで、県内周遊の促進、リピーターの獲得を目指します。 ○旅ナカに向けた情報発信 「餅街道」等の食文化スポットについての多言語ウェブサイトの構築、インフルエンサー等を活用した情報発信を行うとともに、三重県を旅行中の観光客に向けて重点的なプロモーションを展開することで、旅ナカでの行動変容を促し、立ち寄り先の追加や現地での消費増につなげます。	10,000	322票（1位） （※）
11	県土整備部	ダイセーフオレストパークの魅力向上事業	F1・ポケモンという世界的コンテンツが持つポテンシャルを最大限に活かし、より多くの方がパークに立ち寄りたくなる仕掛けを「くつろぎ」「遊び」をメインに整備します。単発の賑わいではなく、年間を通じた継続的な集客を目指します。	○ストライダーコースの整備 ・世界的なモータースポーツの聖地・鈴鹿ならではの体験として、子どもたちがF1ドライバー気分を味わえるストライダーコースを整備します。 ○休憩スポットの整備 ・パーゴラやベンチ等を設置し、くつろぎの場を提供します。 ○多言語対応サインの整備 ・海外の来場者も迷わず楽しめる案内環境を整備します。 ○子ども向け体験イベントの実施 ・子どもが楽しみながら参加できる体験型イベントを実施します。	10,000	59票（12位）
12	警察本部	笑いで特殊詐欺被害防止事業	令和7年中の三重県内における特殊詐欺被害は851件で過去最多となっています。若年層にも被害が広がっており、「高齢者が被害に遭う犯罪」というイメージを払拭し、全ての県民が特殊詐欺を自分事として捉え、対策を講じる必要があることから、若年層に対する広報啓発事業を強化し、特殊詐欺被害防止を図ります。	○お笑い芸人等を起用した広報啓発 主に若年層に対し特殊詐欺被害防止を呼び掛けるため、三重県にゆかりがあり、特に若年層に対して高い人気と発信力を有するお笑い芸人を起用し、SNS等を活用した若年層に対する広報啓発活動を実施します。	2,799	110票 （11位）
13	警察本部	サイバー犯罪疑似体験コンテンツによる広報啓発事業	ランサムウェアやフィッシング等の手口を疑似体験できるコンテンツを制作して広報啓発することで、県民や事業者の危機意識を高めるとともに、被害の未然防止や自主的なセキュリティ対策の実践につなげる事業とします。	○サイバー犯罪疑似体験コンテンツの制作 サイバー犯罪の手口を再現し、疑似体験できるコンテンツを制作し、県警ウェブサイトからの誘導のほか、広報啓発イベントにおける体験、二次元コードによる配布等で活用します。	2,500	156票（7位）
14	警察本部	「絆で守る」高齢者のヘルメット着用促進事業	高齢者の家族等を対象とした「自転車用ヘルメット着用促進イラストコンクール」を開催し、参加者が作成した作品を反射シール化してヘルメットに貼付し、関係する高齢者に贈呈。また、優秀作品等の表彰式を開催します。	○高齢者の自転車用ヘルメットの着用促進 ・高齢者の家族等を対象として、小学生以下の子どもに家族等の高齢者（祖父母等）に対する交通安全メッセージを込めたイラストを作成してもらいます。 ・作成されたメッセージを込めたイラストを反射シール化して自転車用ヘルメットに貼付し、子どもから関係する高齢者に対し、贈呈してもらいます。また、そのイラストの中から優秀作品等を選別し、イラストコンクールの表彰式を行います。	2,499	46票（13位）
15	警察本部	悪質・危険な運転の根絶に向けた「疑似体験型交通安全プログラム」事業	現在、運用中の交通安全VR表示機器に、悪質・危険な違反に起因する交通事故の危険性を疑似体験できるソフトを新たに導入し、多くの運転者に疑似体験してもらうことで、安全運転の継続につなげます。	○悪質・危険な運転を疑似体験できるソフトの新規導入 ・飲酒運転及び高速道路上でのあおり運転等を疑似体験できる交通安全VRソフトを導入します。 ・導入したソフトは、企業での交通安全講話や、交通安全啓発イベントで活用します。	2,202	227票（6位）

（※）1つのアイデアから2つの事業案を構築しているため、同じ票数（順位）となっています。